

# 授業第一主義

## 東稜スタンダード

生徒の進路実現のために、私たちが授業で大切にしていること  
東稜高校は、授業第一主義を貫きます  
**enforcement policy**

### 導入

- ◇心を込めた開始の礼、終了の礼を徹底します。
- ◇授業のねらいを生徒に明確に伝えます。
- ◇from chime to chimeを厳守し、50分をフルに使います。

### 展開

#### STEP 1

- ◇短くポイントを押さえた説明を行います。
- ◇適切で、効果的な板書・資料提示を心掛けます。
- ◇生徒の「なぜ」「なに」を引き出すための発問を常に工夫します。
- ◇生徒の反応を受け止め、発言を尊重します。
- ◇教師と生徒、生徒と生徒のコミュニケーション量を確保します。
- ◇適切な授業進度を確保します。

#### STEP 2

- ◇主体的な学びとなるような学習課題の設定に努めます。
- ◇対話的な学びを引き出す学習形態の工夫に努めます。
- ◇生徒を深い学びにいざなう課題追究型の授業をデザインします。

#### STEP 3

- ◇入試問題を意識した課題、レポートの工夫を行います。
- ◇入試動向を踏まえ、大学受験を意識した授業のレベルを確保します。

### まとめ

- ◇授業のまとめを行い、次の授業の事前連絡をしっかりと行います。

### 全体

- ◇授業中の生徒の不適切な行動や態度には毅然とした態度で指導し、学びの雰囲気をつくります。
- ◇人権に配慮した授業を意識し、ともに学び合う雰囲気を醸成します。
- ◇一人一人を大切にする指導を行い、自律自興・一点突破の精神を持った国家社会の有為な形成者を輩出するために熱意を持って「鍛える指導」を行います。